



2026年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社robot home 上場取引所 東
コード番号 1435 URL <https://corp.robothome.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 古木 大咲
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員CFO（氏名） 安井 慎二（TEL）03-6447-0651
半期報告書提出予定日 2026年8月12日 配当支払開始予定日 2026年9月2日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年1月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	9,233	84.2	387	428.8	328	58.9	239	34.7
2025年12月期中間期	5,014	5.3	73	△87.0	206	△63.2	177	△66.5

（注）包括利益 2026年12月期中間期 251百万円（39.3%） 2025年12月期中間期 180百万円（△64.2%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	2.68	—
2025年12月期中間期	1.98	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	19,369	11,128	57.4
2025年12月期	15,925	11,167	70.1

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 11,120百万円 2025年12月期 11,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	1.00	—	1.00	2.00
2026年12月期	—	1.00			
2026年12月期（予想）			—	1.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	45.4	2,400	35.9	2,200	23.1	2,000	0.5	22.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年12月期中間期	91,127,000株	2025年12月期	91,127,000株
2026年12月期中間期	2,270,000株	2025年12月期	1,242,900株
2026年12月期中間期	89,243,033株	2025年12月期中間期	89,884,180株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、政府の物価高対策等の経済対策や雇用・所得環境の改善等に支えられて緩やかな回復基調が見込まれています。しかしながら中東情勢の緊迫化等の地政学的リスク・国内外の金融情勢・海外の政策動向により、景気の先行きは不透明な状態が続いております。

このような状況の下、当社グループは、AI・IoT等の先端技術を活用したDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進、及びそれら技術を活用した、土地から選べるアパート経営「robot home」を継続的にアップデート。不動産オーナーに向けた新築・中古物件の供給から、賃貸管理の受託、売却・再投資を経て、プラットフォーム内の流通が更に拡大するという好循環成長サイクルを生み出し、安定的にストック収益を拡大してまいりました。

これらの結果、当中間連結会計期間における業績は、売上高92億33百万円(前年同期比84.2%増)、営業利益3億87百万円(前年同期比428.8%増)、経常利益3億28百万円(前年同期比58.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2億39百万円(前年同期比34.7%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① AI・IoT事業

AI・IoT事業におきましては、土地から選べるアパート経営「robot home」の継続的な開発・運用、及びサービスを提供。入居者、オーナー、メンテナンス会社、賃貸仲介会社、賃貸管理会社の全てのプレーヤーをプラットフォーム上で繋ぎ、賃貸経営の自動化を目指してまいります。さらに、これまで蓄積された「リアル×テクノロジー」の知見をDX領域へと展開し、不動産業界のみならず、他業界に対する「DX総合支援サービス」を提供しております。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は4億37百万円(前年同期比95.0%増)、営業利益は2億6百万円(前年同期比213.3%増)となりました。

② robot home事業

robot home事業におきましては、AI・IoT事業で構築した土地から選べるアパート経営「robot home」を活用し、不動産オーナーに向けた新築・中古物件の供給(フロー領域)から、賃貸管理の受託(ストック領域)、売却・再投資(フロー領域)を経て、プラットフォーム内の流通が更に拡大するという好循環成長サイクルの構築に努めてまいりました。

ストック領域におきましては、AI・IoTなどのコアテクノロジーを活用した賃貸管理RPAシステム「robot home for PM」の活用により、業務効率化されたPM業務を実施し、安定したストック収益を拡大してまいりました。また、メンテナンス領域への事業領域拡大、及び自社保証のシェア拡大等による持続的な収益基盤の拡大に注力いたしました。

フロー領域におきましては、購入サポートのみならず、資産形成サポート、売却サポートの更なる充実により、アプリ内での取引を活性化。プラットフォーム内の流通を促進することで、今後の収益基盤の更なる安定化に向けた取り組みに注力いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は88億17百万円(前年同期比83.6%増)、営業利益は13億円(前年同期比45.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて34億44百万円増加し、193億69百万円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産が7億47百万円、販売用不動産が53億75百万円、仕掛販売用不動産が4億43百万円増加した一方で、現金及び預金が34億92百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて34億82百万円増加し、82億40百万円となりました。これは主に、短期借入金が5億41百万円、一年以内返済長期借入金が23億81百万円、長期借入金が7億56百万円増加した一方で、買掛金が2億8百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて38百万円減少し、111億28百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益2億39百万円を計上した一方で、剰余金の配当89百万円、自己株式の取得1億99百万円を実施したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2026年2月12日に発表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,505,020	4,012,045
売掛金及び契約資産	2,140,109	2,887,826
商品及び製品	15,086	13,088
販売用不動産	1,507,976	6,883,445
仕掛販売用不動産	139,346	582,399
貯蔵品	4,934	5,814
その他	327,632	407,988
貸倒引当金	△120,245	△114,544
流動資産合計	11,519,860	14,678,062
固定資産		
有形固定資産	2,267,434	2,423,090
無形固定資産		
のれん	155,220	148,752
顧客関連資産	59,123	56,436
その他	143,792	129,310
無形固定資産合計	358,135	334,499
投資その他の資産		
投資有価証券	1,027,903	1,107,783
繰延税金資産	539,277	534,233
その他	212,643	291,588
投資その他の資産合計	1,779,823	1,933,605
固定資産合計	4,405,393	4,691,196
資産合計	15,925,254	19,369,258

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,228,900	1,020,253
短期借入金	341,600	883,000
1年内返済予定の長期借入金	455,652	2,837,090
未払法人税等	101,805	35,929
預り金	1,374,981	1,479,093
その他	583,685	541,733
流動負債合計	4,086,624	6,797,099
固定負債		
長期借入金	525,309	1,282,231
資産除去債務	108,921	109,316
繰延税金負債	17,902	16,986
その他	19,461	35,254
固定負債合計	671,594	1,443,788
負債合計	4,758,219	8,240,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	7,460,469	7,460,469
利益剰余金	3,938,065	4,087,574
自己株式	△300,001	△499,994
株主資本合計	11,108,533	11,058,050
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,287	56,018
為替換算調整勘定	4,763	6,859
その他の包括利益累計額合計	55,050	62,878
非支配株主持分	3,450	7,442
純資産合計	11,167,035	11,128,370
負債純資産合計	15,925,254	19,369,258

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	5,014,134	9,233,795
売上原価	3,128,804	6,593,958
売上総利益	1,885,330	2,639,837
販売費及び一般管理費	1,811,992	2,252,018
営業利益	73,337	387,818
営業外収益		
受取利息	2,646	5,726
受取配当金	7,683	10,764
投資事業組合運用益	183,883	2,149
その他	1,151	904
営業外収益合計	195,363	19,544
営業外費用		
支払利息	31,772	40,157
支払保証料	1,428	591
支払手数料	28,077	37,287
その他	968	1,240
営業外費用合計	62,246	79,277
経常利益	206,453	328,086
特別利益		
固定資産売却益	—	122
特別利益合計	—	122
特別損失		
固定資産除却損	18	0
投資有価証券評価損	12,668	49,999
事業譲渡損	15,251	—
特別損失合計	27,937	50,000
税金等調整前中間純利益	178,515	278,209
法人税等	1,960	34,824
中間純利益	176,555	243,384
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△1,155	3,991
親会社株主に帰属する中間純利益	177,710	239,393

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	176,555	243,384
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,836	5,731
為替換算調整勘定	△4,103	2,095
その他の包括利益合計	3,732	7,827
中間包括利益	180,287	251,212
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	181,442	247,220
非支配株主に係る中間包括利益	△1,155	3,991

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	AI・IoT 事業	robot home 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	212,103	4,802,031	5,014,134	—	5,014,134	—	5,014,134
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	12,473	—	12,473	—	12,473	△12,473	—
計	224,577	4,802,031	5,026,608	—	5,026,608	△12,473	5,014,134
セグメント利益 又は損失(△)	66,016	894,394	960,411	△1,365	959,045	△885,707	73,337

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	AI・IoT 事業	robot home 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	416,649	8,817,146	9,233,795	—	9,233,795	—	9,233,795
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	21,174	—	21,174	—	21,174	△21,174	—
計	437,823	8,817,146	9,254,969	—	9,254,969	△21,174	9,233,795
セグメント利益 又は損失(△)	206,829	1,300,078	1,506,908	△1,294	1,505,613	△1,117,794	387,818

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。